

ほんじつ ～本日のおすすめの本⑤～ ほん



『わたしのせいじゃない』

～せきにんについて～

レイフ・クリスチャンソン^{さく} ・ ディック・ステンベリ^え 絵

出版:岩崎書店(1996年初版)

*この本は1類の書棚にあります。(貸出可能)

この本はスウェーデンで生まれたシリーズの1冊です。スウェーデンではロングセラーとなり、大変有名な本です。

スウェーデンでは、人間の生き方を探索しながら、同時に、社会の様々な問題にも目を向け、友情・孤独・幸福といった人間関係の大切なテーマが、子どものころから読まれています。

なかでも、この『わたしのせいじゃない』は、とてもシリアスな内容を備えていますが、子どもだからこそ、「いじめ」から目を背けると、将来とても恐ろしいことにつながっていくのだ…というメッセージを感じ取ることができます。

いじめの状況と、その責任のなすり合いが描かれ、後半の写真は美に多くのことを投げかけています。

「学校のやすみじかんにあったことだけど わたしのせいじゃないわ

はじまったときのこと みていないから どうしてそうなったのか ぼくは知らない

ほんとうは わたし みたの だから 知っているの でも とにかく わたしのせいじゃないのよ……」こんな書き出しではじまるこの本を、ぜひ、読んでみてください。

日本でもいじめは深刻な問題になっています。事態を改善するためや、いじめについて話し合うきっかけになる本です。ぜひ、教室やご家庭でも、この本が活かされるコミュニケーションを！！

読んでもらうなら、1年生から。
自分で読むなら、3年生ぐらいから。

おしらせ

みなさん、借いた本は、ていねいに読んでくださいね。
よろしくお願いします。